



地区活動報告

米山記念奨学会 奨学生研修旅行

地区米山記念奨学会 学友小委員長 新本 憲一

10月3日(土)～4日(日)の1泊2日にて、奨学生研修旅行を行いました。

急な予定ではありましたが、コロナ禍の中で自宅に籠もりきりの奨学生のためになんとしても開催したいとの委員会の思いと、各大学とも履修の決定遅れや変則な授業・ゼミ・研究室となっており奨学生の学業や就活・卒論等の日程の集計を加味し急遽計画致しました。少数の委員の同行のもと、新型コロナウイルス対策を徹底した中での研修旅行としました。奨学生全員参加の上、(人数を制限したためOB学友は不参加)地区内の魅力と産業を学ぶと同時に奨学生同士の親睦と友好を図りました。



1日目は有田にてのみかん狩り体験や白浜観光を行いました。いかに有田の地が果樹栽培に適しているかのお話や、栽培の方法などを教えていただきました。白浜では、地区内各所に景勝地があることを伝えました。



2日目は印南にてサーカス鑑賞・湯浅醤油蔵見学・ワイナリー見学を行いました。醤油発祥の地にて、その成り立ちや製法、醤油にかける思いなどを伺いました。また、ワイナリーでは地元で新たな産業を起こす思いも伺いました。



研修旅行を通じ、奨学生は交流を深めると同時に、各所でお世話頂いたロータリアンの温かみを感じ地区内の魅力を再確認しました。1年間の奨学生期間の中で世話クラブの方々以外と話す機会も少なく、ロータリーの事やロータリアンに接する研修となりました。また、大阪在住の奨学生も多く和歌山の各所が初めてという子達もいて地区内の魅力を感じ取ってもらえたと思います。

最後になりますが、訪問各所のクラブの皆様には大変お世話になりました。ご協力に感謝申し上げますとともに無事に終了したことをお伝えさせていただきます。ありがとうございました。